

もの言う教師のエッセー・・・第377話 コロナは警告する ①「IT 原始時代」

太平洋戦争の敗因について、生き残った元士官クラスの人々に聞いたところ、「元亀・天正だ」と言った人いた。そう。火縄銃が渡来し、織田信長が活躍した頃の戦国時代である。つまり米軍は最新の火器を使っているのに日本は火縄銃を使っていたとボロクソだ。日本のお粗末な単発ライフルや装備に対し、米軍はミサイル、レーダー、火炎放射器などを次々開発。日本の敗因は決して物量差だけによるのではない。

さて、スイスの有カビジネススクール IMD が6月16日に発表した世界競争力ランキングで、日本は34位と過去最低を更新した。デジタル技術に関しては62位と目を覆うばかり。ちなみに日本の今年のデジタル競争力は23位で、2位シンガポール、8位香港、10位韓国、13位台湾、22位の中国にも負けていた。コロナはそんなダメな日本を丸裸にした。10万円給付ではオンライン申請が郵送よりも遅く、申請中止の自治体も相次ぎ、雇用調整助成金のオンライン申請も開設直後に他人の申請内容が見えてしまう大失態で停止。中小企業のための持続化給付金のオンライン申請に至っては、“昭和時代企業”の電通などに業務を丸投げ、処理状況をオンライン確認さえ出来ない。

その主たる原因が世界最下位レベルのテレワーク状況だ。“グローバル・リモート・ワーキング資料統計、Updated Q1 2020”によれば、日本の在宅勤務率は30%程度で、ドイツ80%、米国60%をはじめ、中国、インド、メキシコなどでさえ50%以上というから異常な低さだ。だからオンライン授業や遠隔診療でも日本は全く遅れており「IT 原始時代」などと馬鹿にされる始末。いっぽう欧米アジア諸国は、コロナを機に内外の最先端企業とのコラボで、行政、医療、教育分野で新機軸を打ち出し、ポストコロナ社会に向け進み始めた。この違いは一体何なのか？ はっきり言おう。聖書だ。前述の国々は何らかの形で聖書から強い影響を受けている。実は共産中国でさえユダヤ人マルクスに起源がさかのぼるのが皮肉だ。聖書は

「知恵と訓戒とを学び、悟りの言葉を理解するため」 に学び、
「主を恐れることは知識の初め」 箴言 1章 2,7 節

とその書かれた理由を明示している。それはもちろん科学(知識/ science)も含む。今のダメな日本人に付ける薬はこれだ。もはや後がない。知恵と知識の根源である神の前に悔い改め、復活を期す。

2020-7-11

